

## 銅触媒を用いた 1,3-ブタジエンのヒドロ及び アルキルパーフルオロアリアル化反応



目で見ると  
海外論文発表

岡本華奈子\*

Cu-catalyzed Hydro- and Alkylperfluoroarylation of 1,3-Butadiene

Key Words : Cu catalyst, perfluoroarene, 1,3-butadiene,  
Grignard reagent, multicomponent reaction

### <参加会議名>

The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (Pacifichem 2015)

<開催場所> Honolulu, Hawaii, USA

<渡航期間> 2015年12月15日～12月20日

<発表タイトル>

Cu-catalyzed Hydro- and Alkylperfluoroarylation of 1,3-Butadiene

2015年12月15日から20日にかけてアメリカのハワイ州ホノルルで The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (Pacifichem 2015) が開催され、私はポスター発表を行いました。本学会は五年毎に開催される環太平洋諸国を中心とした世界的な化学の会議であり、化学の広範な分野から重要かつ最先端のテーマが取り上げられております。

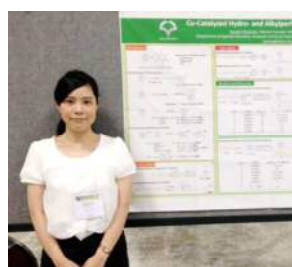
本学会では、私は新たなパーフルオロアレーン誘導体の合成手法に関して発表を行いました。パーフルオロアレーン誘導体は液晶等の機能性材料への応用が期待されています。本学会は世界中から様々な分野の研究者が参加しているため、有機合成に携わる方々だけではなく、化学工学や薬学、材料化学といった幅広い分野の研究者の方々が興味を示してくださり、議論は大変活発なものとなりました。多分

野の方々と議論することにより、新たな質問や貴重なアドバイスを頂くことができ、非常に有意義な時間を過ごせました。海外の方々と交流が持てたことや、世界の著名な研究者の講演を聴けたことは大きな刺激になり、大変貴重な経験をさせていただくことができました。この経験を今後を活かし、グローバルな研究者になれるよう努力していきたいと考えております。

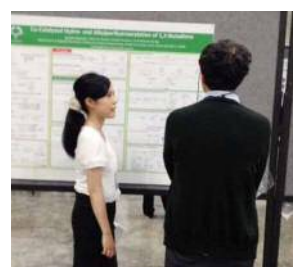
最後になりましたが、今回、化学分野最大の国際会議である Pacifichem への参加にあたり、海外論文発表奨励賞をいただきました生産技術振興協会様に深く感謝申し上げます。



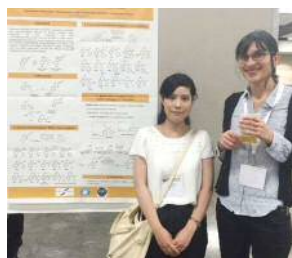
ポスター会場の様子



ポスターの前で



ポスターセッションの様子



フランスの研究者の方と



ポスターセッションの様子



\* Kanako OKAMOTO

1992年2月生

大阪大学工学部応用自然科学科卒業  
(2014年)

現在、大阪大学大学院 工学研究科 応用化学専攻 分子創成化学コース 神戸研究室 学生 博士前期課程2年  
有機化学

TEL : 06-6879-7389

FAX : 06-6879-7390

E-mail : kn\_okamoto@chem.eng.osaka-u.ac.jp